

# 事務事業チェックシート

事務事業No 780 事業名 基礎学力向上事業

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
基本方針	2	子どもたちの確かな学力の定着と向上

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		教育振興費	
	大事業		教育振興事業	
	事項		教育課題調査研究事業	

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	学校教育課	林 素秀 (435-1139)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	地元教育の推進			

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「紀州っ子学びノート」により小学生の読む力・書く力・伝え合う力を伸ばし、国語力の向上を図る。</li> <li>読書活動推進事業として、「うちどく推進事業」を実施。20校園程度をパイロット校に指定し、読書活動を推進する。</li> <li>基礎学力向上の研究を推進し、成果の検証を通して、学力向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「紀州っ子学びノート」を小学生全員に配付し、授業や補充学習・家庭学習で活用し、読む力・書く力・伝え合う力を伸ばす。</li> <li>「うちどく推進校」として、20校園程度をパイロット校に指定。うちどく図書を配備し、読書環境の充実・読書活動の推進を実践する。</li> <li>子どもの基礎学力向上への取組みとして、7小学校、2中学校を研究校に指定し、学力向上に向けて研究を進める。</li> </ul>				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用した。</li> <li>「うちどく推進校」として20校園を指定し、読書活動について研究を進めた。</li> <li>子どもの基礎学力向上への取組み事業として9校を指定し、研究を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用した。</li> <li>「うちどく推進校」として17校園を指定し、読書活動について研究を進めた。</li> <li>子どもの基礎学力向上への取組み事業として9校を指定し、研究を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用する。</li> <li>「うちどく推進校」を23校園指定し、読書活動について研究を進める。</li> <li>「放課後フォローアップ事業」で、さらなる向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用する。</li> <li>「うちどく推進校」を指定し、読書活動について研究を進める。</li> <li>「放課後フォローアップ事業」で、さらなる向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「紀州っ子学びノート」を市内全児童に配付し、各校で活用する。</li> <li>「うちどく推進校」を指定し、読書活動について研究を進める。</li> <li>「放課後フォローアップ事業」でさらなる向上を図る。</li> </ul>

## 2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	12,209	14,227	7,323	5,563	13,086		13,086		13,086	
伸び率 (%)	-	-	-40.0%		78.7%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	2,177	2,177	2,177	6,328	6,328	6,328		6,328	
	非常勤職員									
	小計	2,177	2,177	2,177	6,328	6,328	6,328		6,328	
国庫支出金	1,660	1,628			1,540		1,540		1,540	
県支出金										
市債										
その他	8	7								
一般財源(税等)	10,541	12,592	7,323	5,563	11,546		11,546		11,546	
所要人数	常勤職員	0.29	0.29	0.29	0.85	0.85	0.85		0.85	
	非常勤職員									
主な予算内訳	印刷製本費6,466千円、報償金 4,620千円、図書購入費2,000千円									

## 3 目標及び実績

指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	紀州っ子学びノート配付校	年度目標値		53	53	53	53	51
		実績値		53	53			
	単位	全体目標値			100.0%	100.0%		
		全体目標達成度						
成果指標	紀州っ子学びノート活用率	年度目標値		100	100	100	100	100
		実績値		100	100			
	単位	校	全体目標値			100.0%	100.0%	
		全体目標達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>子どもの基礎学力向上のため、本事業では3つの方向から課題解決に迫る。  「紀州っ子学びノート」では、児童の考える力・書く力をつけるため、各学年の学習内容と関連させて、学年それぞれのノートを作成し、活用している。  「うちどく推進校」を指定して、児童の読書活動を促進し、言葉を育て心を磨く。  さらに「放課後学習等フォローアップ事業」においては、放課後の学習タイムを充実することで、演習量を増やしたり、つまづきを少なくしていく。  いずれの事業も子どもの基礎学力向上のため、継続して充実させていかなければならない。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>「学びノート」は、内容を充実させるため、全学年分の改定作業を進めている。  「うちどく推進校」では、貸し出しの促進と「うちどくノート」の活用を進めている。</p>